

報告

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）について

概要および進捗状況等について

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） -

万博推進局

1. 2025年大阪・関西万博の概要

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン Designing Future Society for Our Lives
サブテーマ	(1)いのちを救う Saving Lives (2)いのちに力を与える Empowering Lives (3)いのちをつなぐ Connecting Lives
コンセプト	未来社会の実験場 People's Living Lab
開催期間	2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間
想定来場者数	約2,820万人
開催場所	大阪 夢洲(ゆめしま)



提供: 2025年日本国際博覧会協会

2. 会場整備の進捗状況

博覧会協会による会場整備（会場内基盤・インフラ整備、パビリオンB・C、テーマ館、大屋根、ゲート、迎賓館、催事施設、営業施設）について、現在、2025年の開催に向けた整備が進んでいる。

なお、昨年10月から会場基盤整備工事（土木工事）を実施しており、土地造成は概ね完了、下水道や雨水排水管等の整備も着実に進捗。

パビリオンワールドの大屋根等の施設整備事業（建築工事）とグリーンワールドのゲート施設等の施設整備事業についても4月以降に工事実施しており、6月30日より大屋根（リング）の組み立ても開始。



3. リスク評価の見直し状況

会場建設費については、現在、博覧会協会において、1,850億円に収めるべく最大限の努力をしているところ。一方で、今般の資材価格や労務費の高騰等の影響を踏まえ、増額の懸念が高まっていることは事実であり、改めて、会場建設費の精査を行っている。

大阪市において今後も継続してモニタリングを行っていく。